

日銀短観（2013年3月）：大企業製造業の業況判断D Iが3四半期ぶりに改善

業況判断～円高修正で大企業製造業を中心に景況感が改善

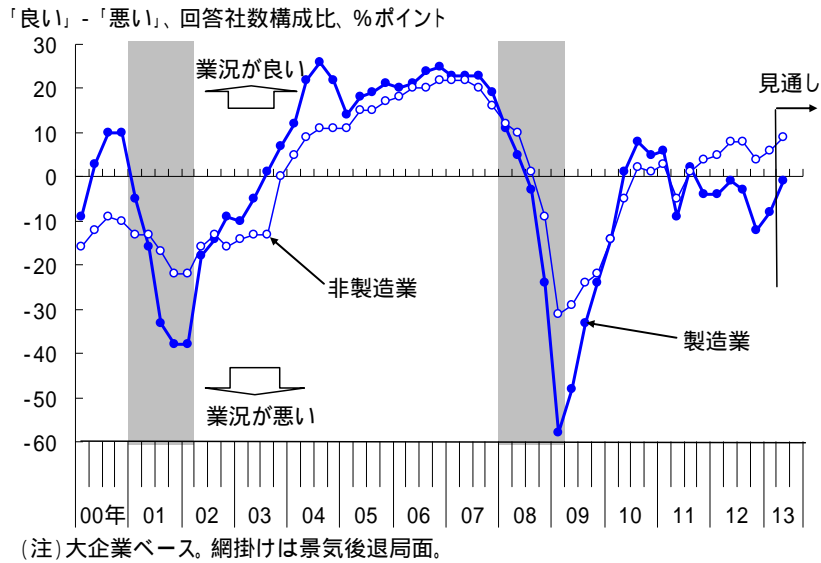
- ・日銀から発表された『短観（2013年3月調査）』によると、企業の景況感を表す業況判断D I（「良い」マイナス「悪い」）は、全規模・全産業ベースで前回（2012年12月）調査比1ポイント上昇の-8となった。
- ・注目度の高い大企業・製造業の業況判断D Iは前回調査比4ポイント上昇の-8となった。円高修正が進んだほか、海外経済も回復に転じてきたことなどから自動車（同19ポイント上昇）やはん用機械（同7ポイント上昇）など輸出関連の業種を中心にD Iが改善した。ただ、円高修正に伴い原材料などの輸入価格が上昇したため、鉄鋼（同10ポイント低下）などは景況感が悪化した。
- ・また、大企業・非製造業の業況判断D Iも6と前回調査比2ポイント上昇した。業種別には、製造業の生産活動が回復したことなどから、対事業所サービス（同8ポイント上昇）の景況感が改善した。また、住宅ローン金利の低位安定などに支えられ住宅市場も堅調に推移したことなどから建設（同5ポイント上昇）や不動産（同3ポイント上昇）などもD Iが上昇した。一方で、円高修正により輸入燃料費が上昇した影響で運輸・郵便（同8ポイント低下）や電気・ガス（同3ポイント低下）などは業況が悪化した。
- ・中小企業（全産業）については、前回調査比2ポイント上昇の-12となった。製造・非製造の別にみると、製造業が同1ポイント低下となった。円高修正の恩恵が中小企業ではいまだ限定的である模様。一方、非製造業は同3ポイント上昇した。個人消費の堅調さを反映して、小売（同12ポイント上昇）や対個人サービス（同6ポイント上昇）などで景況感が改善した。
- ・2013年6月までの先行き判断をみると、全規模・全産業で-5と今回調査比3ポイントの上昇が見込まれている。非製造業では同1ポイントの低下が見込まれている一方で、新体制となった日本銀行の金融緩和強化により、一段と円高修正が進むとの期待などから、製造業（同5ポイント上昇）では業況の改善が見込まれている。

図表1 業況判断D I

（「良い」 - 「悪い」、%ポイント）

| | | 2012年12月調査 | | 今回：2013年3月調査 | | | |
|-------|------|------------|-----|--------------|-----|-----|-----|
| | | 最近 | 先行き | 最近 | 変化幅 | 先行き | 変化幅 |
| 大企業 | 製造業 | -12 | -10 | -8 | 4 | -1 | 7 |
| | 非製造業 | 4 | 3 | 6 | 2 | 9 | 3 |
| | 全産業 | -3 | -3 | -1 | 2 | 4 | 5 |
| 中小企業 | 製造業 | -18 | -26 | -19 | -1 | -14 | 5 |
| | 非製造業 | -11 | -19 | -8 | 3 | -8 | 0 |
| | 全産業 | -14 | -22 | -12 | 2 | -11 | 1 |
| 全規模合計 | 製造業 | -15 | -20 | -15 | 0 | -10 | 5 |
| | 非製造業 | -6 | -12 | -2 | 4 | -3 | -1 |
| | 全産業 | -9 | -15 | -8 | 1 | -5 | 3 |

図表2 大企業の業況判断D I



売上・収益計画～円高修正で2013年度も増益計画に

- ・売上高をみると、2012年度(計画)は全規模・全産業で前年比+0.7%と増収計画になった。製造業が同-0.5%となった一方で、非製造業は同+1.3%となる見込みである。2013年度については、全規模・全産業で同+1.0%と増収が続くと見込まれている。製造業(同+1.2%)、非製造業(同+0.9%)とともに、増収計画となっている。
- ・経常利益をみると、2012年度(計画)は全規模・全産業で前年比+0.4%と小幅増益を見込む。製造業(同-2.3%)は減益計画となっている一方で、非製造業は同+1.9%と増益を見込んでいる。2013年度については、全規模・全産業で同+5.9%と増益を見込む。円高修正の影響で非製造業(同+3.9%)に比べて製造業(同+9.5%)で強めの計画となっている。また、規模別にみると、大企業(同+6.4%)、中小企業(同+7.1%)ともに増益計画となっている。
- ・なお、大企業・製造業の事業計画の前提となる想定為替レートは、2013年度で85.22円/ドルとなっている。足元の為替レートは想定に比べて円安基調で推移していることから、製造業を中心に業績がさらに上振れる可能性がある。

図表3 売上・収益計画

| | | 売上高 | | 経常利益 | | (前年比、%) | |
|-------|------|----------------|------|----------------|----------------|---------|----------------|
| | | 2012年度 (計画) | 修正率 | 2013年度 (計画) | 2012年度 (計画) | 修正率 | 2013年度 (計画) |
| 大企業 | 製造業 | 0.0 | -1.2 | 1.7 | -1.4 | 2.1 | 10.9 |
| | 非製造業 | 0.8 | -0.2 | 0.7 | 0.0 | 1.4 | 3.3 |
| | 全産業 | 0.5 | -0.6 | 1.1 | -0.6 | 1.7 | 6.4 |
| 中小企業 | 製造業 | -1.3 | -0.5 | 0.0 | -0.8 | -1.2 | 10.6 |
| | 非製造業 | 1.3 | 0.6 | 0.6 | 4.2 | 0.7 | 5.8 |
| | 全産業 | 0.7 | 0.4 | 0.4 | 2.8 | 0.2 | 7.1 |
| 全規模合計 | 製造業 | -0.5 | -1.1 | 1.2 | -2.3 | 1.4 | 9.5 |
| | 非製造業 | 1.3 | 0.2 | 0.9 | 1.9 | 1.6 | 3.9 |
| | 全産業 | 0.7 | -0.2 | 1.0 | 0.4 | 1.5 | 5.9 |

設備投資計画～2013年度の設備投資計画は慎重

- ・2012年度の設備投資（計画、含む土地投資額、除くソフトウェア投資額）は、全規模・全産業で前年比+6.0%と増加を見込む。業種別にみると、製造業は同+3.3%と増加を見込むものの、前回調査から3.7%下方修正された。一方、非製造業は前回調査から0.4%上方修正され同+7.5%と増加計画となった。
- ・2013年度については、全規模・全産業で同-3.9%と減少を見込む。ただし、3月調査における次年度の設備投資計画は毎年控え目な数値となる。企業の先行きに対する見通しは改善しているため、今後、調査を重ねるにつれ設備投資計画は上方修正され、最終的には前年度比増加で着地すると予想される。なお、製造・非製造の別にみると、製造業が同-1.2%と減少を見込み、非製造業も同-5.3%の減少計画となっている。

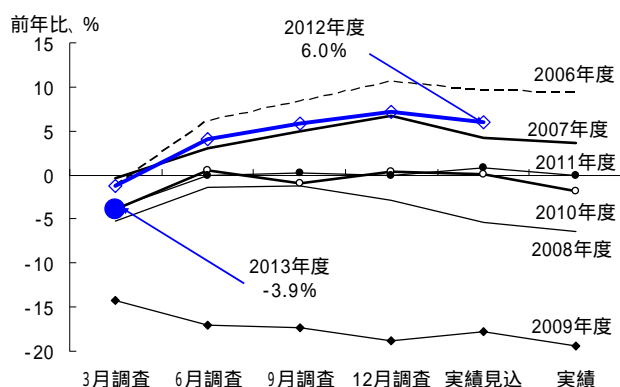
図表4 設備投資

(前年比、%)

| | | 2012年度 (計画) | | 修正率 | 2013年度 (計画) |
|-------|------|----------------|------|-----|----------------|
| 大企業 | 製造業 | 5.7 | -4.8 | | -0.7 |
| | 非製造業 | 4.9 | 0.3 | | -2.6 |
| | 全産業 | 5.2 | -1.5 | | -2.0 |
| 中小企業 | 製造業 | -6.0 | 0.4 | | -3.2 |
| | 非製造業 | 17.2 | 2.6 | | -16.8 |
| | 全産業 | 8.1 | 1.8 | | -12.1 |
| 全規模合計 | 製造業 | 3.3 | -3.7 | | -1.2 |
| | 非製造業 | 7.5 | 0.4 | | -5.3 |
| | 全産業 | 6.0 | -1.1 | | -3.9 |

(注) 含む土地投資額、除くソフトウェア投資額

図表5 設備投資計画の推移



(注) 全規模・全産業ベース。含む土地投資額、除くソフトウェア投資額。

価格判断D I～販売価格判断D I、仕入価格判断D Iともに大幅に上昇

- ・販売価格判断D I（「上昇」マイナス「下落」）は大企業・製造業で-10と前回調査比8ポイント「下落」超幅が縮小した。業種別にみると、加工業種が-14と同5ポイント、素材業種も-2と同15ポイント「下落」超幅が縮小した。
- ・また、仕入価格判断D I（「上昇」マイナス「下落」）も大企業・製造業で15と前回調査比16ポイント上昇し、「上昇」超に転じた。業種別にみると、加工業種が9と同12ポイント、素材業種も28と同25ポイントそれぞれ上昇した。
- ・なお、中小企業・製造業では販売価格判断D Iが前回調査比6ポイント上昇の-16、仕入価格判断D Iが同18ポイント上昇の26となった。

図表6 大企業の価格判断D I

(「上昇」-「下落」、%ポイント)

| 大企業 | | 2012年12月調査 | | 今回：2013年3月調査 | | | |
|--------|--------|------------|-----|--------------|-----|-----|-----|
| | | 最近 | 先行き | 最近 | 変化幅 | 先行き | 変化幅 |
| 販売価格判断 | 製造業 | -18 | -15 | -10 | 8 | -5 | 5 |
| | うち素材業種 | -17 | -11 | -2 | 15 | 11 | 13 |
| | 加工業種 | -19 | -16 | -14 | 5 | -11 | 3 |
| 仕入価格判断 | 製造業 | -1 | 3 | 15 | 16 | 22 | 7 |
| | うち素材業種 | 3 | 7 | 28 | 25 | 33 | 5 |
| | 加工業種 | -3 | 2 | 9 | 12 | 16 | 7 |

生産・営業用設備判断D I ~ 製造業、非製造業の設備過剰感に変化なし

- ・生産・営業用設備判断D I（「過剰」マイナス「不足」）は全規模・全産業で6と前回調査比横ばいであった。製造・非製造の別にみると、製造業が14、非製造業が0とそれぞれ前回調査比横ばいであった。
- ・なお、先行きについては、全規模・全産業で4と今回調査比2ポイント「過剰」超幅が縮小する見込みである。製造・非製造の別にみると、製造業が12と同2ポイント「過剰」超幅が縮小し、非製造業は同1ポイント低下の-1と「不足」超に転じる見込みである。

図表7 生産営業用D I

（「過剰」 - 「不足」、%ポイント）

| | | 2012年12月調査 | | 今回：2013年3月調査 | | | |
|-------|------|------------|-----|--------------|-----|-----|-----|
| | | 最近 | 先行き | 最近 | 変化幅 | 先行き | 変化幅 |
| 大企業 | 製造業 | 14 | 14 | 13 | -1 | 11 | -2 |
| | 非製造業 | 0 | 0 | 0 | 0 | -1 | -1 |
| | 全産業 | 7 | 7 | 7 | 0 | 5 | -2 |
| 中小企業 | 製造業 | 15 | 15 | 15 | 0 | 11 | -4 |
| | 非製造業 | 0 | 0 | 0 | 0 | -2 | -2 |
| | 全産業 | 6 | 6 | 6 | 0 | 3 | -3 |
| 全規模合計 | 製造業 | 14 | 15 | 14 | 0 | 12 | -2 |
| | 非製造業 | 0 | 1 | 0 | 0 | -1 | -1 |
| | 全産業 | 6 | 6 | 6 | 0 | 4 | -2 |

雇用人員判断D I ~ 全産業ベースでは不足感

- ・雇用人員判断D I（「過剰」マイナス「不足」）は全規模・全産業で-1（前回調査比1ポイント低下）と「不足」超に転じた。製造・非製造の別にみると、製造業が同2ポイント低下の10、非製造業は同2ポイント低下の-9となった。先行きについては、全規模・全産業で今回調査比1ポイント低下の-2を見込んでいる。

図表8 雇用判断D I

（「過剰」 - 「不足」、%ポイント）

| | | 2012年12月調査 | | 今回：2013年3月調査 | | | |
|-------|------|------------|-----|--------------|-----|-----|-----|
| | | 最近 | 先行き | 最近 | 変化幅 | 先行き | 変化幅 |
| 大企業 | 製造業 | 10 | 10 | 11 | 1 | 8 | -3 |
| | 非製造業 | -3 | -3 | -6 | -3 | -6 | 0 |
| | 全産業 | 4 | 4 | 3 | -1 | 1 | -2 |
| 中小企業 | 製造業 | 14 | 14 | 11 | -3 | 9 | -2 |
| | 非製造業 | -8 | -8 | -10 | -2 | -12 | -2 |
| | 全産業 | 0 | 0 | -3 | -3 | -4 | -1 |
| 全規模合計 | 製造業 | 12 | 13 | 10 | -2 | 9 | -1 |
| | 非製造業 | -7 | -8 | -9 | -2 | -10 | -1 |
| | 全産業 | 0 | 0 | -1 | -1 | -2 | -1 |

以上

担当：調査部 遠藤 裕基

TEL 045 - 225 - 2375

E-mail: y-endo@yokohama-ri.co.jp

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。